

拠点名称：“コメどころ”新潟地域共創による資源完全循環型バイオコミュニティ拠点

代表機関	長岡技術科学大学	プロジェクトリーダー	小笠原 渉 長岡技術科学大学 技学研究院 教授
幹事自治体	長岡市	幹事機関	株式会社ちとせ研究所
参画機関	(大学等) 理化学研究所、農業・食品産業技術総合研究機構、産業技術総合研究所、新潟県農業総合研究所、新潟薬科大学、群馬工業高等専門学校、鹿児島工業高等専門学校、長岡工業高等専門学校、金沢大学 (企業等) 越後ながおか農業協同組合、岩塚製菓株式会社、株式会社ブルボン、八海醸造株式会社、不二製油グループ本社株式会社、株式会社ニコンソリューションズ、アイビーシステム株式会社、株式会社明和eテック、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、株式会社ホーネンアグリ、株式会社オンチップ・バイオテクノロジーズ、北越コーポレーション株式会社、株式会社システムスクエア、株式会社江口だんご、アクシアルリテイリング株式会社、ハママンフーズ株式会社、有限会社ナジラータ、株式会社プラントフォーム、株式会社ネオス、株式会社大光銀行、株式会社第四北越銀行、新潟県、南魚沼市、魚沼市、十日町市、小千谷市、新発田市、柏崎市、佐渡市、新潟県立長岡農業高等学校、新潟県立海洋高等学校、新潟県内水面水産試験場		

プロジェクトの概要

新潟県はコメ産出額/輸出額共に全国1位の“コメどころ”として広く知られているが、コメの価格下落や農業従事者の高齢化・後継者不足により農家の経営が非常に厳しい。県内の人口減少も加速しており、“コメどころ”新潟の衰退・消滅の危機が訪れている。

農家を始めとする地域のステークホルダーとの議論を重ねた結果、農家が安定的にコメ作りを続けていける環境、また生産されたコメを活用して製造業が付加価値の高い製品を生み出すことが重要であるとの結論に至った。地域全体が「田んぼ」とのつながりを意識し、具体的事業を強化、新たに生み出すために一丸となって、地域の宝である「田んぼ」を守り続けるための研究開発を推進する。

拠点ビジョン：地域資源完全循環型バイオコミュニティの実現

